



すわっ子だより

令和7年度の出発にあたって

校長 川添 倫義

お子様のご入学、また、新学年へのご進級おめでとうございます。教職員一同、心からお祝い申し上げます。本年度は、19名の新1年生と転入生5名を迎え、全学年で145名のスタートです。学級数は1～6年生各1クラス、ひまわり学級3クラスの合計9学級となります。

さて、本年度も保護者の皆様と地域の皆様の願いと想いを大切に、「学校・家庭・地域が連携・協働して取り組むことを通して、子どもたちが元気な挨拶とともに目を輝かせて登校し、充実感に浸りながら下校する学校」を目指してまいります。保護者の方からは「安心して登校させられる学校」、地域の方からは「わたしたちの地域の学校」として親しまれますよう、教職員一同力を合わせて、精一杯努力してまいります。

さて、令和7年度につきましては、以下の方針に基づき進めてまいります。

＜学校教育目標＞

「ともに伸びる子」かしこく ゆたかに たくましく

ー心豊かに生き生きと学び、ともに伸びようとする「すわっ子」の育成ー

＜学校経営方針＞

「子どもたちのためにある、地域とともにある学校」を目指す学校経営

～「学校・家庭・地域が連携・協働して取り組むことを通して、子どもたちが元気な

挨拶とともに目を輝かせて登校し、充実感に浸りながら下校する」学校を目指す～



《目指す学校像》	《目指す児童像》	《目指す教職員像》
○安全・安心で潤いのある学校 ○生き生きと学ぶ活力のある学校 ○豊かな心と身体を育てる人間関係さわやかな学校 ○家庭・地域とともにある信頼される学校	○かしこく ・自分の考えを伝えられる子 ・自分で考え、行動する子 ○ゆたかに ・自分もみんなも大切にする子 ・互いに高めあい、協働する子 ○たくましく ・粘り強く挑戦する子 ・心も体も鍛える子	○心身ともに元気で、児童一人ひとりと向き合い、児童一人ひとりを大切にする教職員 ○学校運営参画意識をもち、情報の共有を心掛ける教職員 ○学び続ける教職員 ○家庭・地域から信頼される教職員

「不易と流行」ということばがあります。変化することのない本質的なものを忘れない中にも新しく変化を重ねていくものを取り入れていくという意味です。教育DX（デジタル・トランスフォーメーション）が推進され、さいたま市は全国でも有数のICTを活用した授業を行っている自治体となり、「学びの自律と個別最適化そして探究化」に向けた教育に邁進します。

新学年になり、新しい友達との出会いがあり、新たな気持ちもあると思いますが、新しい生活への不安もあるはずで。子どもたちが「夢と希望」をもって生活できるように、ご家庭におかれましても励ましの言葉をかけ、支えていただきますようお願いいたします。

保護者の皆様・地域の皆様、今年度もご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。